



自民党

府議会報告

vol. 50 12月定例会

平成28年度政府予算に関する要望活動

11月24日、政務調査会では3班に分かれ、国土交通省、農林水産省、文部科学省、経済産業省、内閣府、内閣官房、総務省、厚生労働省、衆議院議員会館、参議院議員会館において要望活動を行いました。



国土交通省の西脇国土交通審議官に「防災・減災対策を加速するための財源の確保」や「安心・安全な京都づくりを支える治水対策」等に関する要望書を提出

文化庁の有松次長に「文化庁の京都への移転」や「2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた京都からの日本文化の発信」等に関する要望書を提出

厚生労働省社会・援護局の石井局長に「介護人材の確保・定着を図るための勤務環境改善事業の創設」など「高齢者の活躍を支える地域医療・介護基盤の構築」に関する要望書を提出

平成27年度12月補正予算の概要 総額 △1億6,600万円

- 北山文化環境ゾーン整備推進費 ……△1億7,500万円
- 新総合資料館(仮称)整備費 ……債務負担行為 1億7,200万円
- TPP問題検討調査費 ……600万円
- 府民公募型整備事業費 ……債務負担行為 10億円
- 豊かな森を育てる府民税理解促進事業費 ……300万円
- 全国育樹祭開催準備費 ……債務負担行為 2,500万円

平成27年12月補正予算案については中川貴由議員が賛成討論を行いました。

自民党が提出し、可決された意見書

この意見書は、衆参両院議長・総理大臣・所管大臣に提出します

■「関西メガリージョン」の早期実現を求める意見書 ■文化庁等政府関係機関の京都移転を求める意見書



平成28年度当初予算編成、森と緑の公社、和装産地振興、府立医科大学附属病院、主権者教育の推進について。

- ①来年度の当初予算編成方針において、「明日の京都」に示された方針を具現化することを基本に、どこに力点を注ぐか、基本的姿勢・政策遂行に当たっての財源課題をどうするのか。
- ②「解散した森と緑の公社」の評価と府内産材の需要拡大について。
- ③伝統産業の職人さんの減少や高齢化への対応、着物を着たいという人の増加への取組を、府ととしてどのようにされるのか。
- ④府立医科大学附属病院が現在抱える問題点や、今後数十年を見越した病棟再編についてどのようにされるのか。
- ⑤選挙権年齢が「18歳以上」へと引き下げられることに伴い、学校において「政治的教養」を身につける「主権者教育」の推進と、「政治的中立性」の確保をどのようにされるのか。

林田ひろし
(上京区)



地方創生の実現に向けて！

- 地方創生 過去の施策の失敗を検証した上で、地域にあるものに磨きをかけ、価値観の転換を促すような運動にしていかなくてはならない。市町村への本府の支援は、また、オール地域が参加でき、継続的な運動となるような組織が必要では。人口減少地域や都市機能が分散している地域では新しい交通システムが必須。若者の経済状況改善のため、所得の改善と同時に住宅施策による生活コストの低減も必要。中心的な役割を担う地域に存する「基盤産業」への支援に施策を転換すべき。●食の安心安全 輸出推進のためにもHACCPをどう広めていくのか。外食産業や飲食店への拡大も大事。HACCP人材育成にも力を。●高卒資格取得 公立通信制の成果が出ていない。抜本的な改革を。●大都市制度 知事の任期中に方向性をまとめて欲しい。

中川貴由
(八幡市)



国道9号のダブルルート化の必要性について 河川改修、道路事業の進捗と一刻も早い完成を！

- 災害時における緊急輸送道路として 3年余りで5回以上に上る京都縦貫自動車道の通行止めや国道9号の通行止めなどにより、2路線同時に通行止めとなり亀岡市域は陸の孤島となりました。過去に桂川前府議の質問に対し、「ダブルルート化についてどのような課題があるか研究してまいります」との答弁をいただいた経過がありますが検討結果は、河川、道路事業の進捗と今後について 亀岡地内の桂川の保津工区をはじめとする一級河川、千々川・犬飼川・雜木川・天井川である七谷川、宮前千歳線の北ノ庄工区・国道423号法貴バイパス・宇津根橋の架け替え・亀岡園部線の北進事業など、平成27年度予算是思ったよりも道路予算の配分が極めて少ない状況にあり、折角新規事業として採択いただいているところでありますので早期実現を。

中村正孝
(亀岡市)



東京一極集中を打破し、それぞれの地域が自律的で持続可能な地方創生の実現を!!

- 関西メガリージョン（広域経済圏）の形成について ①関西の強みを生かした産業集積をはかり、東京圏・名古屋圏と並ぶ広域経済圏を形成し、その経済的活力を周辺地域に波及させることで、自律的で持続可能な地方創生に結びつけるべき。②広域経済圏の形成には交通インフラの整備が不可欠である。北陸新幹線のルート決定には、日本海側拠点港であり、LNGやメタンハイドレート基地を担い得る舞鶴から京都経由で大阪へ結ぶべき。●TPPの効果による京都府産業への影響について 農産物の8割で関税が撤廃されるが、農業への影響調査を至急行い、対策を講じるべき。工業品は完全撤廃されることから、輸出関連企業の育成や影響を受ける企業への支援策を早急に講じるべき。

すがや寛志
(山科区)



京都市の持続的発展の鍵は文化だ。国内外の力を文化創造に活かそう！中山間地域の持続的展開へ大胆な改革を！

- 文化・宗教都市たる京都は、皇室を中心とした1000年の歴史の中で、内外の力を取り込み形成された。今後の発展には、改めて開かれた意識で内外の力を文化創造に参画してもらう仕組み作りが必要だ。そのため、府と京都市との今まで以上に緊密な連携が不可欠だ。連携強化策として「地域振興計画」に準じた計画策定をすべきであるし、観光振興によって懸念される課題に対処するため「宿泊」や「公共交通」の分野で共同事業を行うべきことを提案する。一方、中山間地域を持続させるには、相続によって維持することが困難になるだろう田畠や山林を、集約して転売することを前提に府が買い上げる仕組みを創るべきだ。河川環境維持に貢献する内水面漁協を支える収益事業として体験型観光を強化すべきだ。

二ノ湯しんじ
(右京区)



★丹後の医療を改善すべき ★丹後の高校再編等は慎重に ★日本海側エネルギーの開発と整備を

- 北部医療センター 老朽化した医療設備の改修、病棟の建替え・移転を含めた抜本的な対策を求める！
京都北部の医師不足 丹後地域の医師不足は深刻。高齢化も進行しており、かかりつけ医の供給が危急！
丹後の府立高校 生徒減少対策を検討する際には地元の意見が大切。通学バス整備・ICT活用など「高校生の学び」の視点で検討を！
LNG施設等 舞鶴のLNG基地化と三田市までのパイプライン整備は太平洋側被災時の代替エネルギーとして重要。産業・経済の活性化のためにも実現を！
メタンハイドレート CO₂排出量の少ないクリーンエネルギーとして重要。産・学・公連携して技術開発と早期実用化を求める！

本田太郎
(宮津市・与謝郡)

皆様の声を府政に届けるため、28名全力で頑張っています!! 私たちに、ご意見・ご要望をお聞かせください。



自民党京都府議会議員団

☎075-414-5555

〒602-8570 京都市上京区下立充通新町西入ル蔵ノ内町 京都府議会棟内 FAX 075-414-5563
<http://www.jimin-kyotofukai.com> メール office@jimin-kyotofukai.com